

## 林業相談

### すす病について

問 庭木のイチイ（オンコ）やトドマツの葉にすすがついたように黒くなり、きたないので、これは病気でしょうか。そして木に害があるのでしょうかお教え下さい。（札幌S生）

答 これは広葉樹、針葉樹の葉に黒い斑点状あるいは葉の全面、とくに針葉樹では針葉全体が、すす状の菌糸でおおわれる病気で、病名は外観から「すす病」と名づけられております。

このすす病は以前はカイガラムシ、アブラムシ、コナジラミなどの昆虫の排泄物に菌がついて繁殖するもので、直接樹木には害がないとされてきました。しかし研究が進んだ今日では、このすす病の仲間はいろいろの生活の仕方をする事がわかってきました。さきにのべたように、昆虫の排泄物をえさとして生き、植物からは栄養をとらないものがあるかと思うと、昆虫の排泄物がなくても葉の上に生じた菌糸から新しい菌糸ができて、この菌糸が葉の組織のなかにもぐりこんで、葉から直接栄養をとるものがあります。また両方の生活をする仲間があるといわれています。さらに葉からの栄養のとり方にもいろいろの方法があるようです。

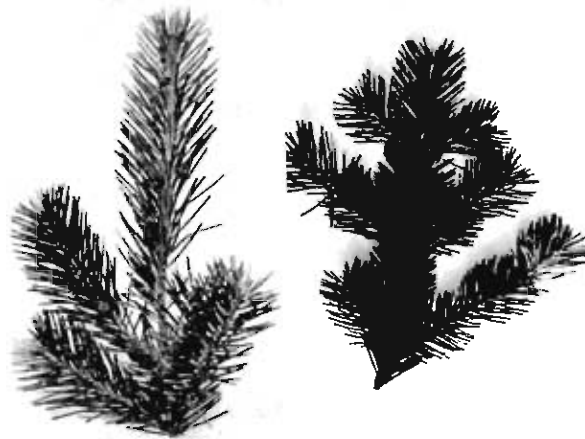
このような理由でご質問のイチイ（オンコ）やトドマツについたすす病が、どんな種類の菌であるかを調べないと、樹木に害があるかどうかは、はっきりしませんが、すす病全般についていうと、この病気によって樹木が枯れるということはないですが、はげしくかかると葉の同化作用がおとろえて樹勢がだんだん衰弱することは確かです。

イチイにつくすす病菌の名前はわかっておりますが、その生活の仕方はまだよくわかっておりません。トドマツのすす病菌はカイガラムシ、アブラムシなどの排泄物上で繁殖するものとされています。

すす病は風通しが悪かったり、陽光があまりあたらない、じめじめした場所だったり、土地

がやせていたり、あるいは窒素質肥料が多すぎたりする場所で発生が多いから、これらの誘因をなくすようにして下さい。さきにものべたように、カイガラムシ、アブラムシ、コナジラミなどの昆虫の排泄物にすす病菌が繁殖しやすいから、これらの昆虫を駆除するために、エカチン剤や馬拉ソン剤などを散布して昆虫の駆除につとめて下さい。

（樹病科 小口 健夫）



無被害枝

被害枝